

企業ファイナンス論

担当者 文能 照之

開講時期 後期

単 位 2

●講義の概要

企業活動を行う上でヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源の調達が必要不可欠です。なかでも資金の調達（ファイナンス）は、企業設立時から起業家、あるいは経営者を悩ませる重大な課題となっており、事業を発展させていくには、これが成否の鍵になるとも言えます。

そこで授業では、企業の仕組みやファイナンスの基礎的知識を学修した後、企業設立の段階から成長を遂げるまでの企業の成長ステージにそって、資金調達の具体的な方法について学びます。

●講義の到達目標

企業ファイナンスについて理解し、説明できる。

企業の設立とファイナンスとの関係について理解し、説明できる。

●講義計画

第1回：講義の概要（目的、各回の主な内容、授業の進め方等）

第2回：企業の設立と組織形態

第3回：ビジネスモデルと経営戦略

第4回：企業の成長と組織

第5回：ファイナンスの基礎

第6回：資金調達の意義と具体的方法（1）－デットファイナンス

第7回：資金調達の意義と具体的方法（2）－エクイティファイナンス

第8回：資金調達の意義と具体的方法（3）－資本政策

第9回：コーポレートガバナンス

第10回：株式上場の意義とプロセス

第11回：成長企業の出口戦略とファイナンス

第12回：企業価値評価と資本コスト

第13回：企業のファイナンス事例（1）…ソフトバンク

第14回：企業のファイナンス事例（2）…DeNA

第15回：講義の総括とレポート報告

●成績評価基準と方法

授業前にしっかりと準備したうえで発表が行えていること
30%

授業時のディスカッションへの参画と貢献（授業内容を理解しようとする意欲）30%

期末レポート（授業内容の理解度の確認）40%

●テキスト又は参考文献

〈テキスト〉

水永政志（2013）『現役経営者が教えるベンチャーファイナンス実践講義』ダイヤモンド社、その他、必要に応じて資料を配布する。

〈参考文献〉

砂川伸幸ほか（2013）『経営戦略とコーポレートファイナンス』日本経済新聞社

岩村充（2013）『コーポレート・ファイナンス』中央経済社

●受講上の留意点

テキストまたは配布資料に必ず目を通したうえで授業に臨むこと。また、新聞の経済欄等に掲載されている記事に目を通し、興味・関心を持った内容について調べることを。